



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

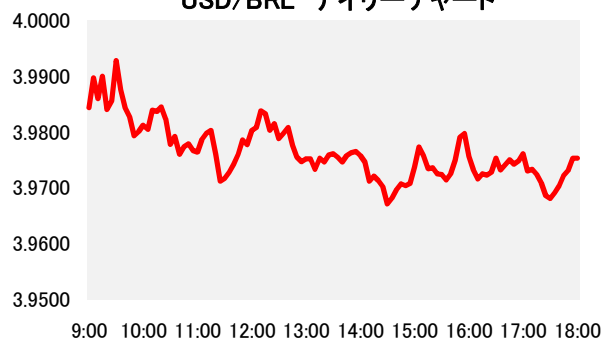
			5月8日	5月9日	5月10日	5月13日	5月14日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9290	3.9480	3.9560	3.9940	3.9750	-0.0190
	BRL/JPY	Spot	28.020	27.810	27.78	27.37	27.58	+0.21
	EUR/USD	Spot	1.1191	1.1217	1.1233	1.1223	1.1204	-0.0019
	USD/JPY	Spot	110.09	109.77	109.95	109.31	109.63	+0.32
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.413	6.402	6.392	6.401	6.396	-0.005
	Future	1Year(p.a.)	6.539	6.497	6.478	6.499	6.444	-0.055
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.398	3.431	3.379	3.368	3.374	+0.006
	USD	1Year(p.a.)	3.516	3.551	3.517	3.494	3.508	+0.014
株式	Bovespa指数		95,596.63	94,807.88	94,257.56	91,726.56	92,092.44	+365.88
CDS	CDS Brazil 5y		173.33	173.89	172.60	176.29	175.06	-1.23
商品	CRB指数		179.746	179.006	178.954	177.641	179.991	+2.35

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IBGEサービス部門売上高 前年比	-0.7%	-2.3%	3.8%
(米)NFIB中小企業楽観指数	102	103.5	101.8
(米)MBA Mortgage Foreclosure	--	0.92%	0.95%

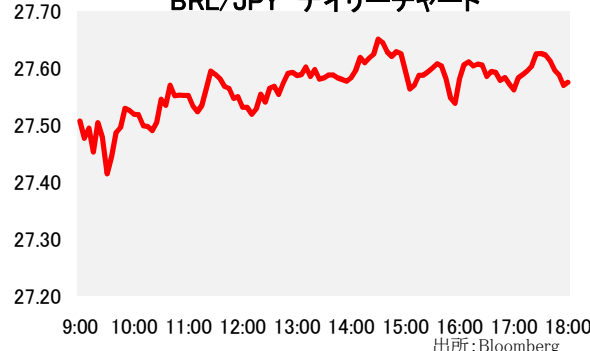
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

トランプ米大統領	(米中通商問題に関して) 適切な時期が来れば中国と取引する
----------	-------------------------------

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは、小幅上昇。3.9910で寄り付き、直後に日中安値3.9940を付けた。先日報道されたボルソナロ大統領長男であるフラビオ・ボルソナロ氏の調査続報や、マイヤ下院議長の汚職疑惑が報道されるも、トランプ米大統領が中国との交渉に前向きな発言を行った事で、米中通商問題に対する不安感が一歩後退。じりじりと買いが優勢となり、午後に日中高値3.9680を付け、引けにかけて3.97台近辺を小動きに推移。結局3.9750クローズした。
- 本日、先週7日(火)～8日(水)に開催されたCOPOMの議事録が公表された。議事録では、世界経済の減速リスクに加え、2019年1Q以降も国内の経済活動ペースの減速が予想されるとの見方が示された。しかし、中銀の見解は市場参加者と一致しており、影響は限られた。
- 本日、マイヤ下院議長が国内の航空会社との間の汚職に関与したとの疑惑が報道された。但し、詳細は明らかになっておらず、同氏が直接関与したかも現時点では不明確なことから、本件発表後の市場への影響は限られた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。

出所: Bloomberg